

スピロテトラマトフロアブルのメロンにおける体系防除試験

飯干浩美、森 克彦（社団法人 日本植物防疫協会研究所高知試験場）、
山下修宏（バイエルクロップサイエンス株式会社 西日本試験室）

バイエルクロップサイエンス株式会社によって新規開発されたスピロテトラマト剤と天敵資材（コレマンアブラバチ・タイリクヒメハナカメムシ）を用いた、施設栽培メロンでの体系防除試験を行った。スピロテトラマト剤はアブラムシ類を初めコナジラミ類、アザミウマ類およびダニ類に対して優れた殺虫活性があり、天敵昆虫類に対して悪影響が少ないと考えられている。定植時スピロテトラマトフロアブル 200 倍希釈液を 50ml/株 株元灌注処理し、コレマンアブラバチ（商品名：アフィパール）1000 頭/10a を 2 回（定植 14 日後、21 日後）、タイリクヒメハナカメムシ（商品名：タイリク）1000 頭/10a を 1 回（定植 14 日後）放飼し、さらに定植 28 日後にスピロテトラマトフロアブル 2000 倍希釈液を散布したところ、試験期間中を通してミナミキイロアザミウマ、タバココナジラミ バイオタイプ B、ワタアブラムシおよびナミハダニ（黄緑型）を低密度に抑えた。また、試験開始当初よりコレマンアブラバチの定着が確認されたが、タイリクヒメハナカメムシの定着は確認できなかった。